



## 字 謎 (じなぞ・じめい)

字謎とは漢字の謎々で、「字謎 (じめい)」とも読むそうです。漢字の偏・旁・冠・脚などを離したり、合わせたりして作った謎です。謎という字を分けると『言』と『迷』になります。言葉に迷わされて、字謎で楽しんでみましょう。参考:「漢字のなぞかけ字謎のふしぎ」(清水潔著 実業之日本社)

問 題		ヒント・解説	こたえの漢字
1	二階の女が気にかかる?	2貝の女が木にかかるは古い 今は、お高くとまったツ〜ん とした女が木にかかる	櫻 桜
2	いとしいとしというところは?	糸し糸しと言う心は昔の人。 今は、2亦(また)かける下 心	戀 恋
3	別れたら一人は?	人は一人立ちして大人になる。	大
4	別れたら二人は?	人は結婚すると夫婦になる。 二人は最期に別れて、どこに 召す。二人の別れた原因は金 のもつれ	夫 天 ㄥ
5	三人の日は?	こんな日は暖かく、うららか 雪や氷が解けると何になる?	春
6	牛が一本道を歩くと?	牛は生物、牛肉は生、	生
7	牛の角を取ると?	牛肉は、うま(午)かった(勝 った)?	午
8	毎日、海・苺を見て思い出すのは?	毎 海 苺	母
9	お日様から生まれたものは?	★	星
10	お日様とお月様が一緒だと?	 半分は昼 半分は夜	明
11	お日様が二つあるところに立つと・・・?		暗
12	お日様と青い空の日のお天気は?		晴
13	お寺の横からお日様がのぼるは?	 ゴ〜ン	時

明るいところには、お日様一つ、暗いところには二つ

14	仮装をして、上り坂で、木の板にのって、返事が、返ってきた・・・	仮 坂 板 返	反
15	土あれば稲育ち、水あれば魚を飼い、人がいれば自分でなく、馬があれば走り回る	地 池 他 馳	也
16	上には下にあり 下には上にある	上下	一
17	上に上にあり 下は下にあり	上下	卜 (うらなう)
18	山を二つ重ねると?	山+山	出
19	山にある石は?	山+石	岩
20	山にある灰は?	山+灰	炭
21	鳥が山に止まったら?	鳥+山 嵩 嶋	島
22	百から一を引いたら?	百 - 一 = 九十九	白
23	1+1は?	一+一	王
24	一+-=?	+   =	田
25	1-1は?	一-一	三

字謎は、字喩ともいう。漢字の謎解きです。漢字の分解などによって新しい言葉をつくる、一種のことは遊びです。字遊字在に遊んでみましょう。

26	六十には点が余り、八十には一足らず	六十 > 平 < 八十	平
27	大きいと白く、小さいと赤く、腐ると四角く柔らかく、納めると糸を引く	大○、小●、口腐、納●	豆
28	彼います? 酒さめたら来い!	どんな魚食べさせてくれるの?	かれます 鯿 鮒? 鮭 鮫 鱈 鯉!
29	草ぶきに門をかまへて 西側の向かいに 秋の花ぞ香れる	草 かんむり 門 がまえ 東 ⇄ 西の向かい側	蘭
30	雪ふれば 木毎に花ぞ咲きにける いつれを梅とわきて折らまし (紀友則・古今和歌集)	木+毎	梅
31	兆しがあればとびはね 止まればあとを残す 危なくなればひざますく	跳びはね、趾、跪く	足

問 題		こたえ	問 題		こたえ
33	丸のよごれを取ったら？	丸	34	むべ山風を？	嵐
35	目に足がはえたらどうなるかい？	貝	36	屋根の下の王様が	全
37	田んぼの中に棒が一本は？	由（申甲）	38	此の糸何色？	紫
39	木の根本に印をつけたら？	本	40	金を失くした	鉄
41	心にたすきをかける	必	42	早く生える植物	草
43	自分の心で何する？	息	44	古い草はどんな味？	苦
45	口を串でさした	中	46	少なく止まって何してる？	歩
47	口の中に口は？舌が回る？	回	48	人の言うことはどうする？	信
49	黄色い木はどこにある？	横	50	立っている木を見る人は誰？	親
51	お皿の汚れは何？	血	52	雨ふる田んぼに落ちるものは？クワバラクワバラ	雷
53	白い羽ですることは？	習	54	緑の糸を金に変えたら？	録
55	人が木の横で何をする？	休	56	三つの力を足したら？	協
57	二十四時間＝一日？	旧	58	王様が冠をつけたら？	主
59	重いものに力をこめたら？	動	60	古い物を箱に入れたら？	固
61	大きな羊は？	美	62	林の枝を一本折ったら？	材
63	この草を食べれば病気が治って楽になる？	薬	64	木の向こうにお日様が昇るその方角は？	東
65	門に耳をあてたら？ 耳に十四の心をそえたら？	聞 聴	66	お日さま、取って	最
67	田んぼを燃やしたら	畑	68	水の中、白い糸が流れていく	線
69	里予田耳口王子	野田聖子	70	一八+++++++-=-+雄	平井幸雄



字謎 70 選

1	山を二つ重ねる	出	26	心にたすきをかける	必
2	お日様とお月様が同時に出た	明	27	百から一を引いた	白
3	玉のよごれを取った	王	28	目に足がはえた	見
4	お日様と青い空	晴	29	田んぼの中に棒が一本	由 (申、甲も可)
5	木の根っこに印をつけた	本	30	三人の日	春
6	お寺の横からお日様がのぼる	時	31	少なく止まってなにしてる?	歩
7	牛の頭を取る	午	32	丸いボールのよごれを取る	九
8	山にある石	岩	33	毎日水があるところ	海
9	口の中に口がある	回	34	早く生える植物	草
10	口を串でさした	中	35	古い草はどんな味?	苦
11	お皿によごれがついた	血	36	王様が冠をつけた	主
12	白い羽ですること	習	37	へびの上に首をのせた	道
13	鳥が山に止まった	鳥	38	屋根の下の王様	全
14	自分の心で何する?	息	39	山にある灰	炭
15	金を失くした	鉄	40	重いものに力をこめた	動
16	田んぼを燃やした	畑	41	門に耳をあてた	聞
17	この草を食べれば楽になる	薬	42	大きな羊	美
18	緑の糸を金に変えた	録	43	三つの力を足した	協
19	車にふたをかぶせた	軍	44	古い物を箱に入れた	固
20	林の枝を一本折った	材	45	木の横で人がすることは?	休
21	人が両手を広げた	大	46	女の人が市場に行った	姉
22	立っている木を見る人は誰?	親	47	お日様から生まれた	星
23	七本の刀ですること	切	48	雨ふる田んぼに落ちるもの	雷
24	水の中、白い糸が流れていく	線	49	木の後ろにお日様が昇る	東
25	黄色い木	横	50	人の言うことはどうする?	信

51	別れると一人。	大	52	中に一点を加える	虫
53	二十四時間	旧 (1日)	54	天を震わせ、田を動かす	雷
55	路 (みち) 半ばにして家を出る	客 (路の半分「各」と、「家」から中が出た残りのうかんむり)			
56	上を見れば下にあり、下を見れば上にあり				一
57	半分は昼、半分は夜	明	58	六十には足らず、八十には余りあり	平
59	左は一を加えると千、右は一を引くと千				任
60	身をひるがえせば人になる	入	61	天より高い	夫
62	明るいところには一つ、暗いところには二つ				日
63	車の中にいる動物	申	64	草木の間に人がいる	茶
65	大きいと白く、小さいと赤く、腐ると四角く、納めると糸を引く				豆
66	西にあって東になく、南にあって北になく、糸にある水は咳を止める薬となる。				瓜
67	竹木のかたわらに目がある。	箱	68	この糸、何色? (此の糸)	紫
69	春、雨が降り、妻は一人で家にいる	一 (雨が降っているので、「春」から「日」をとる。妻が一人ということは夫がないので残りの部分から「夫」をとる。残ったのは「一」)			
70	草ぶきに門をかまへて西がはの	むかひに秋の花ぞかほれる (短歌)		蘭 (「西側の向かい」は「東」である)	

中国は漢字の国ですから、昔から文字遊びは発達していたようです。文字の形や組立を図形的に考えた文字遊びに「字謎（ツミー）」という、一種のなぞなぞがありました。これは隠語によってある字を示し、それを当てるというゲームで、「字謎詩」なんてそのものずばりのタイトルをつけられた詩もあります。

さて、人物伝でも紹介しましたが（詳しくは「人物伝」ログ参照）、唐代の伝奇「謝小娥伝」にはこの「字謎」が含まれています。

曰く、敵の名を示す謎として、「車中猴、門東草、禾中走、一日夫」。

1) 胃上有, 背上有, 胸上有, 腿上脚上都有。

胃にあり、背にあり、胸にあり、腿に脚にもある。

2) 一減一, 不是零。

1引く1、ゼロではない。(ヒント: 数字)

3) 画時圓, 写時方, 寒時短, 熱時長。

絵に描けば丸い、字に書けば四角い、寒いとき短く、暑い時長い。

4) 合起来, 一個字, 分開来, 四個不。

合わせると一つの字、分けると四つの「不」

(ヒント: 角度を変えて見ると「なるほど」)

ヒント追加: 実際に四つの「不」で構成されているわけではありません。

一画かぶって2つの「不」に見えるかも。

そして東西南北角度を変えて見ると、

「あら、ここにも『不』、ここにも『不』、ここにも・・・」

と4つある、と言えるかな?という感じです。

5) 水边有一隻鷄。

水辺に一羽の鷄がいる。(ヒント: 鷄も現代は「鶏」ですが…)

6) 一隻小帆船, 船上載着米, 向東又向西, 不知到那里。

一艘の小さい帆船がある。船の上には米を載せている。

東へ西へ、どこへ行くのか分からない。

(ヒント: どうしようかな、う～ん…というような事)